

『良寛戒語』

<長話や口数の多いことに関する戒め>

再No.38

2007.1.1

三宝通信

ことばのおほき……言葉(口数)が多い。
 はなしのながき……はなしがながい。
 かうしゃくのながき……講釈(能書)がながい。
 物いひのはてしなき……おしゃべりがはてしない。
 わかいものむだばなし……(年齢にかかわらず)精神的に成熟していない者の無駄話。
 いきもつきあはせず物いふ……息つきもせぬくらい物のいい方。早口。
 あひだのきれぬやうに物いふ……言葉と言葉の間が切れないように、次々に物をいう。
 ものいひのくどき……もののいい方がくどい。
 かへらぬことをいくたびもいふ……既に過ぎてしまったことに対して、泣き言をいう。
 人のいやがるも知らず長ばなし……人がいやがっていると感じる能力がなく、長々話しを
 してしまふ。
 人のことばをききとらずしてものいふ……相手の言葉を聞きとらないうちに、物をいう。
 はなしのあひをきらさじともいふ……話と話との間が切れることに恐怖を感じて物をいう。
 おとし話の長き……おとし話の前置きが長い。
 人の物いひはてぬにもいふ……相手の話が終了していないうちにものをいう。
 ものいひのはてしなき……たえず、しゃべっている。
 人にまけじともいふ……相手の話題について、たとえ知識がなくとも、
 負けるものかともをいう。
 よしなきながばなし……特に必要のない長ばなし。
 むだごと……無駄話
 ことばのすぐるはあいそなし……話しすぎるのは、無口であるより、かえって愛想が悪い
 というものだ。
 かるはずみにものいふ……軽率に、深く考えないでものをいう。
 さしたる事もなきことをこまごまいふ……重要でないことも、こまかにいう。
 見る事きく事ひとつひとついふ……要点をまとめるといふ能力がなく、見る事きく事をその
 まま、ひとつひとついう。
 口上のながき……口で言う説明がながい。